

## 入試情報

### 選抜方法

「一般入試」と「社会人特別入試」で選抜する。ただし、併願は不可とする。募集定員は、一般選抜と社会人特別選抜をあわせて8名とする。

#### 1) 出願資格

一般入試は、次の①～④のいずれかに該当する者で、かつ看護師の取得者、あるいは当該年度に取得見込みの者とする。  
社会人特別入試は、①～③のいずれかに該当する者で、かつ看護師、保健師、又は助産師として3年以上の実務経験を有する者とする。

- ①大学(学校教育法第83条に定める大学をいう。以下同じ)を卒業した者又は当該年度に卒業見込みの者
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は当該年度に授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は当該年度に修了見込みの者
- ④本学大学院が実施する個別の入学資格審査(注1)により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達する者

#### 2) 出願前相談

入学者選抜を行うにあたっては、事前に研究計画、実務経験等について、本学研究科の教員との面談を行う。(注2)

#### 3) 試験科目及び選抜方法

学力試験(専門科目)と面接試験並びに成績証明書等の事前提出書類により総合的に判定する。

入試区分	願書受付期間(郵送のみ)	入試日	合格発表 (可否通知発送日)	入学手続期限 (消印有効)
前期	平成29年10月30日(月)～11月14日(火)必着	11月18日(土)	11月22日(水)	11月29日(水)
後期	平成30年1月17日(水)～1月31日(水)必着	2月4日(日)	2月8日(木)	2月15日(木)

注1: 学校教育法施行規則第155条第1項第8号の規程に基づいて、4年制大学の卒業生だけでなく、短期大学や専修学校の卒業生で一定の要件を満たす者には、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合には出願資格を与える。(詳細についてはお問い合わせください)

注2: 出願前相談を希望される方は、下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

## 長期履修制度

学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて3年または4年にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合には、この長期履修学生制度を活用することができます。なお、納付金の総額は、修業年限が3年または4年の場合でも、修業年限2年の場合とほぼ同額になります。

### 都心から楽々アクセス 松戸駅・徒歩5分の快適通学

キャンパスは千葉県松戸市にあり、緑と芸術に囲まれた広大な敷地が自慢です。  
都心の主要駅からのアクセスも、30～40分程度と良好です。

#### ★松戸駅からのアクセス

駅から徒歩5分



JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線「松戸」駅下車東口徒歩5分  
※イトーヨーカドー内エスカレーターを利用できます。閉店時は正面の通用階段をご利用ください。  
※公共交通機関をご利用いただき、お車での来校はご遠慮ください。



聖徳大学大学院

SEITOKU

# 看護学研究科

看護学専攻(修士課程)

2018年4月開設

## 入学案内

SEITOKU UNIVERSITY  
Graduate School of Nursing Science  
Division of Nursing Science  
(Master's Program in Nursing Science)



聖徳大学大学院 看護学研究科

SEITOKU

資料の請求・お問い合わせは、聖徳大学入学センターまで

受験相談フリーダイヤル

0120-66-5531

TEL.047-366-5551 (直通) FAX.047-366-5553 (直通)

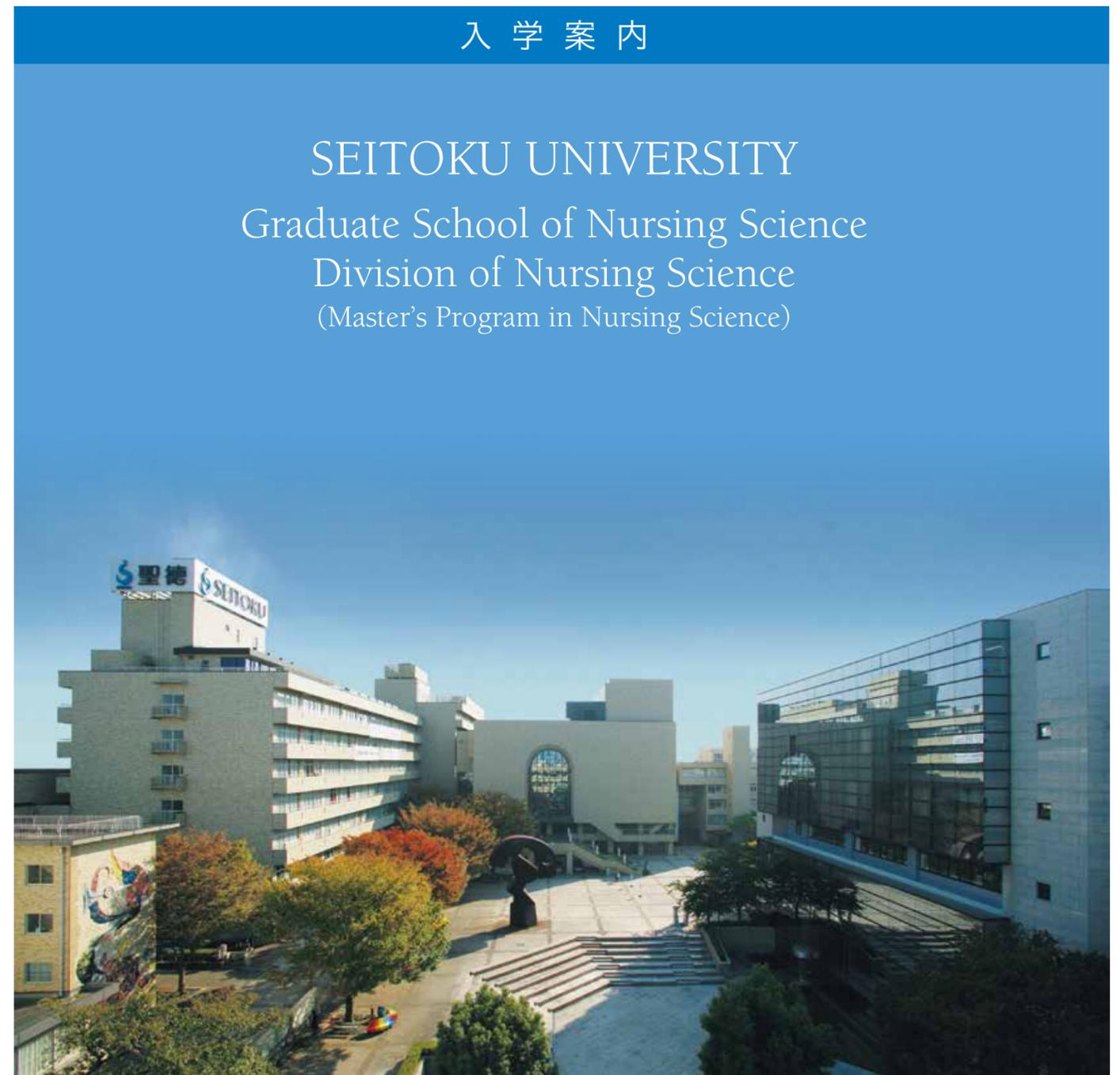
[ホームページ] <http://www.seitoku.jp/univ/>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-365-1111 (大代表)

聖徳学園は全学園でISO9001・ISO14001を同時認証取得  
[2003年11月18日] (教育機関として日本初)



ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム)  
ISO 14001 (環境マネジメントシステム)



# 看護現象を科学的に解明する研究を通して 看護学とチーム医療の発展に資する高度看護職者を養成。

看護学研究科は、地域の保健医療福祉並びに教育環境の向上に寄与するために、「和」の精神と人間の尊厳を基盤とし、広範な視点から看護学の学識を教授し、高度専門職業人として、変化に創造的に対応できる看護学の専門的知識と技術及び教育研究能力をもつ人材の育成を教育目的としています。

少子高齢化に伴い、看護職が活躍する組織や組織を構成する人々の職種は多種多様となり、さらにケアの受け手である市民の意識は変わりつつあります。そのため、現場では多重課題を多職種で協働しながらチームとして質の高いケアの提供に繋げ、かつ組織運営や安定的な経営改善もできるような人材が求められています。また、看護現象を的確にとらえ、科学的かつ論理的に探究・分析し看護学を発展させると同時に、多職種が協働しながら課題解決していくことに応えられるような看護職を育成する学部段階での教育を担える教育研究者も必要となっています。

そこで、本研究科では、**高度な組織管理、経営管理のできる能力を有するトップリーダー及び協働する力とマネジメント力を有するミドルリーダーの育成**、並びに**大学等における組織マネジメント力・多職種連携の知識・技術を有する教育研究者を育成**します。看護実践の質的向上に真摯な姿勢で取り組み、実践並びに教育の分野においてリーダーとして活躍したい人に入學いただきたいと思ひます。



看護学研究科長(就任予定)  
**教授 水戸 美津子** みと みつこ  
博士(学校教育学)。専門分野は看護管理学、看護教育学、老年看護学。臨床看護師のキャリア形成に関わる研究や病院及び在宅分野の看護管理に関する研究に取り組む。

## 3つのポリシー

### ディプロマ・ポリシー 学位授与の方針

本学は聖徳太子制定の十七条憲法の理念である「和」を建学の理念としている。その内容は以下のとおりである。  
①豊かな人間性を育成する  
②多様な他者との共感的な関係を築く力を養う  
③様々な人々と協調し、協働する力を養う  
本研究科のディプロマ・ポリシーも建学の精神「和」に基づき、次の3つを柱としている。  
1) 生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観をそなえた看護職として、管理・教育・研究・実践の場でリーダーとして行動できる能力を有する。  
2) 総合的視野に立って、多職種多機関と協働して最適な保健医療福祉サービスを統合して提供できるようなマネジメント力を有する。  
3) 保健医療福祉及び教育の場における課題に関して主体的に取り組み、科学的・論理的な分析に基づき検討・提言する能力を有する。

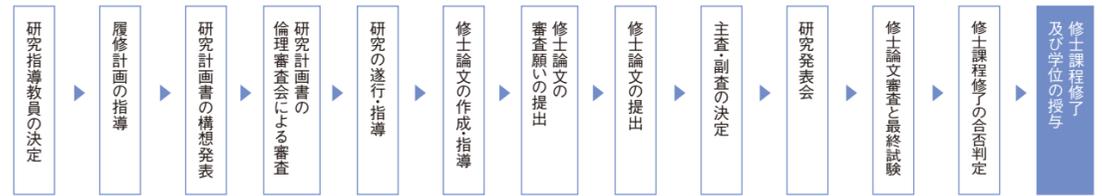
### カリキュラム・ポリシー 教育課程編成の方針

カリキュラムは以下のポリシーに沿って編成する。  
1) 深い人間理解に基づく倫理観の涵養  
生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観と思想性を備えた人材の育成のために主たる科目として専門基礎科目に「教育哲学」「医療倫理」を置く。  
2) 保健医療福祉及び教育の場における課題に主体的に取り組みリーダーとして行動できる能力の育成  
最適なサービスを提供できる高度な管理能力や指導力及び実践力を育成するために専門基礎科目に「看護マネジメント論」「看護継続教育論」「医療システム安全学」「医療経営学」「医療制度論」「生涯教育論」を置く。  
3) 科学的判断力・思考力の育成  
科学的・論理的な分析に基づき検討・提言する能力を育成するために専門基礎科目に「看護学研究法I」「看護学研究法II」「看護学理論」「教育方法の理論」「保健・医療統計学」を置く。また、様々な看護現象を研究的に探究する能力を身に着けるために研究科目に「特別研究」を設定する。  
4) 高度な専門的知識・技術の育成  
専門科目には、修了後のキャリア・デザインにもとづく、各自の課題に沿った体系的な探求を可能とするために2分野7領域を置く。また、専門科目には、探求を積み重ねて各領域の専門性を深めるためにそれぞれに特論Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱを置く。

### アドミッション・ポリシー 入学者受け入れの方針

- 1) 看護学の基本的な知識や技術を有している人
- 2) 看護実践及び看護学への強い関心と問題意識を有している人
- 3) 将来に対するビジョンと信念を有し、看護実践・看護学の発展に貢献する意欲を有する人
- 4) 看護実践の質的向上に真摯な姿勢で取り組み実践においてリーダーとして活躍したい人
- 5) 看護管理者又は看護教育者として活躍したい人

## 学位取得の流れ



## 教育課程&カリキュラム

### 1) 専門基礎科目

専門基礎科目には、広い視野から高度な看護実践能力やマネジメント力、教育力や物事を論理的に探求できる研究力を培う素地となる能力育成のための土台として13科目を設定します。

必修科目	教育哲学	多様な教育的働きかけの根底をなす哲学、教育とは何か、教育を行う上での人間のとらえ方等を探求し、特に看護教育・研究者として次世代の看護専門職を育成する上で必要な教育・指導力を高めるためのベースとなる教育の根本理念を探求的に学びます。
	医療倫理	具体的な事例を取り上げ、倫理的に考えることを通して看護・医療従事者の行為の正しさを問うさまざまな視点や方法、原則を学び倫理的問題に対応できる能力を身につけます。
	看護学研究法I	研究のプロセスと各種方法を学びヒューマンケアに関する実践を量的に分析し実践構造を理解することにより理論と実践の融合を図り、実践に生かします。
	看護マネジメント論	質の高い看護・医療を効果的・効率的に提供するために必要な看護サービスマネジメントの基本となる理論とチーム医療推進のためのリーダーシップのあり方について探求します。
	看護学研究法II	質的研究法の特徴と研究プロセスを理解し、看護実践の向上に寄与する研究の意義と役割を理解します。
選択科目	看護学理論	看護実践、看護教育、看護管理の基盤となる理論を学び、看護の本質を見極め看護専門職としての視点から看護現象を論理的に探求する力を身につけます。
	看護継続教育論	看護継続教育を基礎教育との関連から総合的に理解し、看護実践の質を向上させるために必要な教育企画・展開・評価について探求します。
	保健・医療統計学	科学的根拠に基づいて保健・医療を実現するために、組織運営に必要な統計処理能力を養います。
	教育方法の理論	教育方法に関する理論を学び、学習者の成長を支援する教育方法について学びます。
	医療システム安全学	医療安全の動向やその問題点について理解し、医療提供体制のヒューマンエラー防止対策を組織全体の問題として推進します。
	医療経営学	現実の医療経営に貢献できる人材の基盤づくりや医療機関の将来の経営幹部として主導的役割を担う人材を育成します。
	医療制度論	医療制度、医療政策・法規などを理解して、マネジメントやリーダーシップについて考え、組織運営を考える際の拠り所となる考えを学びます。
	生涯教育論	生涯教育の理念や歴史的経緯等を学習し、看護専門職としての生涯教育の方法について探求します。

### 2) 専門科目

管理学分野 看護教育	看護教育学	高度化・多様化する医療の動向と社会の変化を見据え、体系的かつ実践的な看護教育が構築できる教育力と研究マインドを修得できるように、看護職者の教育・学習に関わる理論や方法に焦点をあてます。教授—学習理論を用いて、看護教育カリキュラムや教育プログラム開発過程、教授法、評価方法を中心に教授します。
	看護管理学	看護サービス提供を支える人材、設備、財政ならびに、アウトカムとしてのサービスの質保証をめぐるさまざまな現象を、制度・政策をはじめとする政治・社会動向との関連の中でとらえ、その改善・変革の道筋が探求できるように教授します。
実践看護学分野	成人看護学	成人看護学に必要な理論とその活用について教授すると共に、がんや心疾患など病とともに生活する人々とその家族の療養生活を見通し、成人期における急性・慢性期あるいは終末期にかけて、その人らしく充実した生活を送るための支援に対する課題を探求し、新しい知見と技術を開発する能力が育成されるよう教授します。
	老年看護学	老年看護学に必要な理論とその活用について教授すると共に、老年期の特徴と健康課題を理解し、高齢者が地域社会の中で健康的に生きがいを持って生活するための援助方法や地域包括ケアシステムの構築などの課題に取り組むことができるように教授します。
	母子看護学	母子看護学に必要な理論とその活用について教授すると共に、周産期における女性・胎児及び新生児、児童・生徒の健康並びに、思春期、成熟期、更年期、老年期のライフサイクル各期における女性の健康や特性を理解し、子どもと女性の健康に関する支援方法について教授します。
	精神看護学	精神看護学に必要な理論とその活用について教授すると共に、精神障害をもつ人の看護援助に関して、精神疾患の多彩な症状・日常生活に関連する問題をアセスメントし、保健医療福祉等の関係者と連携し、社会資源を活用しながら地域生活で必要な支援を提供すると共に、地域住民との調整を図り、精神看護の知識・技術の質向上並びに開発に貢献できるように教授します。
	地域看護学	地域看護学に必要な理論とその活用について教授すると共に、地域で生活する個人、家族、地域住民など地域全体を対象とした健康保持増進、あるいは慢性疾患などの生活上の困難がある看護の対象者とその家族のQOLの維持・向上のための支援方法について教授する。さらに、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護職として、科学的根拠や理論に基づき高い看護実践力をもって、多職種間連携の中でリーダーシップをもって地域医療・看護を提供する方法について教授します。

### 3) 研究科目

研究科目として、「特別研究」を1～2年次学年に配置し、院生の研究テーマに沿って履修できるように配置します。これは、専門領域の特論、演習による知識の活用及び文献検討を踏まえて、各領域に関する研究課題を科学的に探求する科目です。研究課題を主研究指導教員・副研究指導教員の指導・助言を基に焦点化し、研究テーマの設定、研究計画書の作成、データ収集と結果、論文作成までの過程において指導します。